



WANDS No.421

コロナ禍の中でも光るポジティブ要素

2021年、 イタリアワイン躍進の鍵は？

カビッキオーリ [ランブルスコ]
単一畑から生まれるランブルスコ V2531



「カビッキオーリ ランブルスコ ロッソ ヴィーニャデルクリスト」。

ウンベルト・カビッキオーリ氏が1928年にモデナで創業したワイナリー・カビッキオーリ。大手だが高く安定した品質が評価され、この地を代表する存在となっている。小粒で酸が高く長期熟成可能性の高いソルバーラ、ジュシーで酸が穏やかなサラミーノ、濃い色調で味わいがしっかりとしたグラスパロッサ等、複数のランブルスコを取り扱い、辛口から甘口まで様々な銘柄を生産している。

中でもフラッグシップとなるのが「ヴィーニャデルクリスト」。1987年に創業60周年を記念して、クリスト村にある5haの単一畑で栽培するソルバーラ100%で造り始めた。華やかな果実と花のアロマで、ソルバーラらしい豊かな酸と心地よいテクスチャーが魅力。「ガンベロ・ロッシ」でトレ・ビッキエーリを連続受賞している。

輸入元：飯田
072-923-0244
<https://www.lidawine.com>